

第4回 湖西市ゼロカーボンシティ推進協議会 会議録（要旨）

開催日時	令和5年11月1日（水）14：00～16：30
開催場所	湖西地域職業訓練センター
出席者	（委員）17名 （オブザーバー）3名 （事務局）6名 （受注者）2名
内 容	
1 開会	事務局 司会あいさつ、参加状況の確認、資料確認
2 環境部長あいさつ	
3 会長あいさつ	
4 議題	<p>(1) (仮称)湖西市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案についての意見交換</p> <p>ル ガ：前回協議会后、「おいでん祭」や「あらいじゃん」でアマモの啓発活動を行った。</p> <p>石 原：今後は11月4日に開催される湖西フェアで啓発活動を行う予定。</p> <p>塩 澤：地球温暖化対策について親や友達に話したところ、興味をもってもらえたようで、いろいろな人に話してみたいと思った。</p> <p>大 倉：家庭に関わる施策が大事になってくるため、学校や駅といった生活圏において情報を得られるようにして、誰しものが脱炭素の必要性を感じられるようにする必要がある。</p> <p>佐原司：「自動車保有台数」の「旅客自動車」と「貨物自動車」について、排出量カルテと実数値が異なるが、どういう区分なのかご説明をいただきたい。また活動量について教えていただきたい。</p> <p>山 本：環境省の自治体排出量カルテの自動車保有台数のデータの出典元である、自検協（自動車検査登録情報協会）を使用している。「旅客自動車」が「自家用車、バスやタクシー等」、「貨物自動車」は「トラック等」で区分されている。 排出量を推計するにあたって、人口で按分すると実態より数値が乖離してしまうため、各部門分野のパラメーターを用いて算出しており、自動車に関しては、保有台数を用いて算出したものを活動量とさせていただいている。</p> <p>滝 川：わからない方のために注釈等で記載すればいいのではないか。</p> <p>原 田：高校生がアマモに関しての活動をしている中、企業としてどのような活動に協力すればよいか教えていただきたい。また、独自で樹木を植えても温室効果ガス削減に寄与するのか教えていただきたい。</p> <p>村 山：アマモの保全活動等、一市民として取り組みに参加していただければよいと思う。 また、樹木を植えることにより温室効果ガス削減に寄与しているが、どのくらい寄与しているかについては今後検証していく必要がある。</p> <p>佐原克：取引先からの情報やこの場に出席することを通じて、地球温暖化の理解や重要性を深める機会が得られるが、他の企業についても、学び、理解を深めることが重要だと感じている。大倉様がおっしゃったように、パッと見て何が大事なのかを明確に伝えていく必要があると考える。</p> <p>川 島：各地で脱炭素化の必要性を商工会や金融機関と連携し、中小企業にアピールしているが、なかなか意識変革が進んでいないと感じている。自発的に取り組んでいる企業は少なく、補助金の充実化・メリットをうまくアピールして、推進する必要があるのではないかと考える。</p>

桐 生：「具体的な取組」に「2030 年度、2050 年度目標」と記されているが、「脱炭素先行地域・重点対策加速化事業」については、2030 年度に向けて脱炭素に取り組む自治体に交付金を充ててサポートする事業であるため、記載の仕方をご相談できればと思う。

光 原：PDCA を回す際に数値目標に加え、プロセス指標的に目標を達成できたかを評価して反映していただければと思う。
森林吸収の施策について、「できる、できない」の議論ではなく、「やるべき、やるべきではない」という議論を全体的に進めて頂ければと思う。

渥美博：湖西市の省エネの補助金は来年度も継続してやられる認識でよいか。
都市緑化の推進について、各自治会の公園等を想定しているのか具体的に教えていただきたい。

村 山：現時点では不確定な状況である一方、9月の補正予算で金融機関と連携し、別途省エネ設備に係る融資に対する利子補給制度を創設した。給付自体は翌年以降になるかもしれないが、引き続き省エネ設備に対する補助を続けられるとよいと考える。都市緑化推進については、現時点で具体的なアイデアはなく、引き続き検討はしていきたいと考えている。

渥美敏：ある企業が「アマモを増やしたい」と相談に来た。現状では暑さの影響もあり、アサリの生産量が減っている中で、アマモの保全を通じて温室効果ガスを減らし、浜名湖の生態系が戻ることを期待できる。そのため、アマモの保全活動について企業が協力していただけると非常にありがたいと思っている。

榊 原：以前自動車メーカーから、タクシーに係る実態について情報提供があった。自家用車と事業用の普通車では使い勝手が違い、技術革新のスピード感が異なる。事業用の車両は非常にハードルが高く、問題をクリアするためにはお金と時間がかかると感じた。

瀧 本：太陽光発電の導入には出力抑制の問題が出てくるため、「蓄電池の導入」も併せて列記すればよいと思う。
PPA はあくまでも導入手法であって、必ずしもそれ自体が効果的ということではないため、表現の仕方を変えるべき。
地域で活動したものは地域に戻すというのが「循環」という形となる。吸収量をクレジット化して地域の企業が買う形を制度化すると、高校生が取り組んでいるアマモ場にもお金が戻り、一番いいのかなど。
工場の低炭素化について、トランジションに徹底して低炭素化を普及するというような表現を入れると、工場に取り組むべきことが少し明確になるのではないかと。
省エネ診断利用数について、「何を診断するのか」というところを表現として入れた方が、読んだ人が分かりやすいのではないかと。

丸 山：湖西市ならではの内容を入れつつ、実効力のある施策が入っていることについて、非常に評価できる。具体的取組について中部電力にお申し付けいただければ、しっかりとサポートしていきたいと思っている。
中長期目標までいろいろな社会情勢の変化が考えられるため、柔軟にアップデートしつつ、この目標を位置づけていただければと思う。

耳 塚：太陽光発電の導入促進が目標達成の大きな柱になっており、その中でも住宅、事業所、遊休地への導入が特に重要だと感じた。太陽光導入に関しては、カーボンニュートラルを目指す人からの反応はいいものの、そうではない人にとってはまだ反応が乏しい。取組を実施しただけで終わらず、イベントなどを通じて市民に適切に発信していくことが重要。

遠 藤：取組一覧のうち、「行政におけるゼロカーボン化」に「Ⅲ」の高評価があってもいいのではないかと。「広報活動等」の取組の削減量が少ないが、将来に繋がる意義のある活動だと感じるため、今は「削減量」と「リードタイム」で優先順位を決めているが、目先に見えているものだけではなかなか評価できないのではないかと。
遊休地について、活用の仕方はいろいろあるがやりようがなく、地主の方も困っているという声を多く聞いている。実際はポテンシャルもあり効果があるので、結構踏み込んで考えていただければと思う。

森林組合がないということについて、グループ会社を含め、他地域との連携という中で協力者が発見できるのであれば、前向きに検討していただきたい。

服 部：再エネ導入をかなりする必要がある一方、森林吸収についてももう少し何かできないか。

佐原司：遊休地が具体的にどこを指しているのか教えていただきたい。

山 本：例えば、一般廃棄物の最終処分場の跡地や荒廃農地のうち、現在、耕作放棄地となった状態で、農業として再生利用が困難とされている箇所が挙げられる。

佐原司：太陽光の導入に制限がある遊休地や調整区域でも、「自家消費可能なシステムを作るのであれば建ててもいい」というプランを積極的に推進した方がよいと思う。また、ゼロカーボンの推進とあわせて、さまざまな企業を誘致して、発展を促進すればよいのではないか。

大 倉：SNS の発信とあるが、何の SNS を想定しているのか教えていただきたい。

村 山：現時点では、既存の湖西市の公式ライン等を活用する予定。個人的にはインスタグラムの活用も考えている。引き続き、いろいろと知恵をいただきたいと思っている。

(2) その他

近 藤：本日頂いた意見等を反映し、パブリックコメントを実施する。期間は 12 月中旬から 1 月中旬の 1 か月間を想定している。

本計画のキャッチフレーズについて、ご提案をいただきたい。

省エネ設備の補助金についてのお知らせ

5 閉 会

(別紙) 湖西市ゼロカーボンシティ推進協議会 委員名簿

業種	所属等	職名	氏名	出欠
教育・学術機関	豊橋技術科学大学	副学長 電気・電子情報工学系 教授	滝川 浩史	○
金融	静岡銀行	湖西支店・新居支店長	遠藤 威	○
	遠州信用金庫	湖西支店長	耳塚 和也	○
電力	中部電力株式会社	事業創造本部部長（事業推進担当）	丸山 忠宏	○
ガス	サーラエナジー株式会社	カーボンニュートラル推進部長	瀧本 修	○
公共交通機関 (鉄道・バス・タクシー)	遠鉄タクシー株式会社	常務取締役運行営業部長	榊原 正之	○
農業・ 漁業協同組合	とぴあ浜松農業協同組合	湖西地区支店地区統括部長	北谷 英久	×
	浜名漁業協同組合	代表理事組合長	渥美 敏	○
商工会	湖西市商工会	事務局長代理	二橋 和久	○
	新居町商工会	事務局長	渥美 博之	○
市内事業者 (製造業・物流業)	プライムアースE Vエナジー株式会社	経営戦略室 主査 兼 SDGs 企画推進グループ長	光原 好人	○
	有限会社浜名樹研	代表取締役社長	佐原 克哉	○
	株式会社新光製作所	代表取締役社長	原田 高久	○
	株式会社笠子流通	代表取締役社長	佐原 司郎	○
地域住民	市民代表	湖西市自治会連合会会長	板倉 福男	×
	消費者代表	特定非営利活動法人 ママライフバランス 副理事	大倉 昌子	○
	湖西高校	3年生	木本 和輝	×
		2年生	塩澤 陽斗	○
新居高校	2年生	ルガ クラレンス	○	
	2年生	石原 碧	○	
オブザーバー				
静岡県	企業脱炭素化支援センター	イノベーション推進部	川島 一貴	○
	地球温暖化防止活動推進センター	ゼネラルマネージャー	服部 乃利子	○
環境省	関東地方環境事務所	地域脱炭素創生室長	増田 大美	○
財務省	東海財務局静岡財務事務所	総務課長	川上 正人	×
湖西市環境審議会	湖西市環境審議会 静岡県環境資源協会	湖西市環境審議会会長 静岡県環境資源協会 専務理事	平井 一之	×